

研究 Report



No. 4 令和3年11月 池袋本町小学校

10月27日(水)に1年4組で4回目の研究授業を行いました。今回の授業では、自分がよいと思ったことができたときの気持ちを大切に、小さなことでも自分を信じ、遠慮しないで進んで行うことができる実践意欲と態度を育てることを目標として設定しました。1年生の発達段階ではまだ自己中心的な行動や考えが見られます。そのため、行ってよいことならないことの判断を、相手が自分より強いのか弱いかを根拠にしたり、相手を好きか嫌いかわかってしまったりすることも少なくありません。小さなことでも、正しいと思ったことを勇気をもって行うことができたときには、称賛をしていき、児童の自己肯定感を高めていくことが大切です。それにより、児童の心に自信が育まれ、自分がよいと思ったことに対して進んで行っていく意欲や態度につながると考えています。

今回の授業をきっかけに、よくない場面を見た時に、よいことと悪いことを区別し、正しいと思ったことは進んで行うことができるように今後も見守りながら励ましていきます。

- 1 講師 千代田区教育委員会 統括指導主事 田中 博 先生
- 2 主題名 「ただしいことは すすんで」(A-I [善悪の判断, 自律, 自由と責任])
- 3 教材名 「やめなさいよ」
- 4 授業内容



【本時の目標】

よいことと悪いことを区別し、正しいと思ったことは進んで行おうとする実践意欲と態度を育てる。

【主な学習活動】

導入

物語の挿絵をスライドにして表し、児童が登場人物の気持ちを考える際の手掛かりとなるように分かりやすく提示しました。



展開前段



展開後段

学習問題に対して自分の考えをしっかりともち、タブレットの共同学習ツールを用いて考えを書きました。友達の意見を見て、その意見を参考にすることで、より考えを広げることができました。



終 末

ペアで役割演技を行い、考えたことを交流しました。自分とは違う考えに触れ、実際に演じることで、学習問題に対して、より深く考えられるようになりました。実際に演じてみて登場人物になりきって言葉を言った後、どんな気持ちになったのか考えることができました。



「よくないと思うことを見たら、どうすればよいか」という問いに対して、
・優しく教えてあげたい。
・どうしてそんなことをしてしまったのか、理由を聞いてあげたい。
・良くないことは止めてあげたい。
・先生に相談する。
などの考えが出ました。